

## 陸水圏のモニタリング 被災地における放射性物質モニタリング（公共用水域）



【実施範囲】  
福島県、宮城県、茨城県、  
栃木県、群馬県の全域及び  
岩手県、千葉県等の一部

【測定地点】  
約600地点

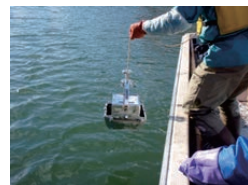
【核種分析】  
<試料>  
水質、底質、  
環境試料(土壌)

<対象核種>  
放射性セシウム  
放射性ストロンチウム(一部底質のみ)等

【頻度】  
汚染状況等に応じて、1～6か月に1回の頻度で調査。



(河川・水質)



(湖沼・底質)

環境省ウェブサイト [http://www.env.go.jp/jishin/monitoring/results\\_r-pw.html](http://www.env.go.jp/jishin/monitoring/results_r-pw.html)

福島県を中心に、宮城県、茨城県等、放射性物質による汚染の懸念がある地域の河川、湖沼等において、モニタリングが実施されました。

平成26年度は、約600地点でモニタリングが実施されており、水等に含まれる放射性セシウム、ストロンチウムの分析が行われました。

本資料への収録日：平成25年3月31日

改訂日：平成28年1月18日